

報告事項ク

青谷上寺地遺跡におけるAR（拡張現実）技術体験アプリの運用開始について

平成29年3月28日（火）から青谷上寺地遺跡でAR（拡張現実）技術体験アプリの運用を開始しましたので、別紙のとおり報告します。

平成29年4月14日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

青谷上寺地遺跡におけるAR（拡張現実）技術体験アプリの運用開始について

平成29年4月14日
文化財課

国史跡青谷上寺地遺跡を多くの方に現地で楽しく学んでもらうことを目的に、スマートフォン・タブレットパソコン用のアプリケーションソフトを制作し、下記のとおりアプリの運用を開始しました。

1 アプリの名称

「地下の弥生博物館 青谷上寺地遺跡 ARアプリ」

※ Android版及びiOS版のいずれにも対応しています。

2 運用開始日

平成29年3月28日（火）

3 アプリの体験が可能な場所

青谷上寺地遺跡現地（鳥取市青谷町青谷4255他）及び青谷上寺地遺跡展示館内（同青谷4064）

※ 詳細は別添チラシの裏面地図にあります。

4 アプリの内容

多くの方に青谷上寺地遺跡の魅力を実地で感じてもらうことを目的に、遺跡を歩いて楽しめる以下のコンテンツを盛り込んでいます。いずれのコンテンツとも、遺跡現地などに設置したマーカー（コンテンツ起動用の目印）を読み込むと体験できます。

（1）AR技術による発掘状況の体験

（ア）発掘された遺構を3次元CG化し、遺跡現地の発掘地点で表示（2か所）

（イ）青谷上寺地遺跡展示館の展示品の出土状況を3次元CG化し、展示品の横に表示（3か所）

（2）多種多様な出土品の3次元CGを遺跡現地で表示（9か所）

（3）遺跡の概要や青谷小学校の古代米づくりを紹介した動画を遺跡現地で再生（3か所）

5 アプリの入手方法

Google Play及びApp Storeで無料配信中（通信料は利用者の負担）。

※チラシやマーカーのQRコードを読み込むとダウンロードページが表示されます。